

研究課題 小児肝・神経疾患におけるオキシステロールの病態解析とバイオマーカーとしての可能性に関する情報公開

1. 研究の対象

実施承認日～2020年11月30日に当院でB型肝炎あるいは胆汁うっ滞症にて治療を受けられた当時18歳未満の方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：オキシステロールは主に肝臓で生合成される酸化コレステロールの総称である。生体内では異化代謝の中間生成物であるほか、核内レセプターのリガンドとしても機能しており、様々な疾患の病因やバイオマーカーとして報告されている。成人では慢性肝疾患、動脈硬化、糖尿病、アルツハイマー病、癌など幅広く報告されているが、小児疾患領域の報告はほとんどない。また、健常小児の年齢別基準値の報告もない。そこで健常小児の年齢(成長)に伴うオキシステロールの動態変化、小児慢性肝疾患・小児神経疾患群との関連性を研究することで、オキシステロールが関与する疾患の発見、その新たな病態解析と治療開発、体内状態のバイオマーカーとしての有用性などへ繋がる可能性がある。

方法：同意の得られた対象患者から採取した血液または尿を共同研究機関に送付する。共同研究機関により、ガスクロマトグラフ質量分析計（以下、GC-MS）および液体クロマトグラフ質量分析計（以下、LC-MS）を用いてオキシステロール各種、オキシステロール以外のコレステロールから胆汁酸への代謝経路で生合成される代謝産物の組成および量を測定し、データを解析する。

研究期間：実施承認日～平成32年11月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：家族歴、年齢、身長、体重等

試料：血液および尿

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータ提供は、個人が識別できない状態で行います。対応表は、本学の担当者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者：久留米大学医学部小児科 水落建輝

共同研究機関：

順伸クリニック胆汁酸研究所 入戸野博

順伸クリニック胆汁酸研究所 武井一
九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 教授 田口智章
九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 講師 松浦俊治
熊本大学医学部附属病院移植外科・小児外科 准教授 菅原寧彦
熊本大学医学部附属病院移植外科・小児外科 特任助教 大矢雄希
自治医科大学移植外科教授 水田耕一
自治医科大学移植外科助教 眞田幸弘
国立成育医療研究センターセンター長 笠原群生
国立成育医療研究センター副センター長 阪本靖介
国立成育医療研究センター医長 福田晃也
東北大学小児外科教授 仁尾正記
東北大学小児外科講師 佐々木英之
名古屋大学大学院医学系研究科小児外科 教授 内田広夫
名古屋大学大学院医学系研究科小児外科 講師 田井中貴久

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 名古屋大学医学部附属病院小児外科 田井中貴久

名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話番号 052-744-2959

研究代表者：久留米大学医学部小児科学講座 水落建輝

福岡県久留米市旭町 67

電話番号 0942-31-7565